

第33回全日本リレーオリエンテーリング大会 プログラム



東青山四季のさと

- 開催期日 2024年12月8日(日) 雨天決行・荒天中止
競技場所 三重県津市白山町上ノ村
競技会場 「東青山四季のさと」
主催 公益社団法人日本オリエンテーリング協会(JOA)
主管 三重県オリエンテーリング協会
後援 スポーツ庁、公益財団法人健康・体力づくり事業財団、公益財団法人日本スポーツ協会、
三重県、三重県教育委員会、津市、津市教育委員会、(一社)三重県レクリエーション協会
協賛 株式会社リテラメッド、サルミング、かなめ測量株式会社、
株式会社アークコミュニケーションズ、デサントジャパン株式会社



競技開始時刻が 10：20に変更になっていますので、ご注意ください。

1 競技役員

運営責任者 小坂 平和
競技責任者 小野 盛光（愛知県オリエンテーリング協会）
コース設定者 森 創之介
イベントアドバイザー 玉木 圭介（滋賀県オリエンテーリング協会）
アシスタント
イベントアドバイザー 牧ヶ野 敏明（岐阜県オリエンテーリング協会）
スタッフ
伊藤哲夫 小野賢二 鏡和子 加納尚子 小八重善裕 杉森憲文 高村卓 高村陽子 谷口直弥
谷秀司 徳力雅哉 友田賢吾 仁多見剛 堀内あつ子 藤原良幸 牧戸和之 牧戸悠生 的場洋輔
宮林修（五十音順）
（看護師）竹腰加奈子 柏真紀子

2 スケジュール

12月7日（土）

伊勢志摩 OLC 大会（前日大会）

12月8日（日）

第33回全日本リレーオリエンテーリング大会

会場：「東青山四季のさと」

8：30 駐車場開場

9：00 開場 受付

9：30 一般クラス走順票 提出締切

9：40 開会式

9：50 競技説明デモンストレーション

10：15 ME クラス 1走招集

10：20 ME クラス 1走スタート

10：25 WE、MJ、WJ、WS クラス 1走スタート

10：30 MS、MV、WV、XJ、XV クラス 1走スタート

10：35 一般クラス スタート

13：10（予定） 繰り上げスタート招集

13：15（予定） 繰り上げスタート

13：15（予定） 地図返却、地図販売開始

13：50（予定） 表彰式、閉会式

15：05 フィニッシュ閉鎖

3 問い合わせ先

1 2月7日まで

(極力Eメールでのお問い合わせをお願いします。電話は携帯への転送の為取れない事があります)

公益社団法人 日本オリエンテERING協会 全日本リレー大会係

E-mail : entry@orienteering.or.jp TEL : 03-5843-1907

1 2月8日(大会当日) 03-5843-1907(大会会場の担当者携帯電話に転送されます)

大会中止の判断

- 選手の安全性を鑑み、気象状況により大会を中止する場合があります。
- 中止する場合は、大会ウェブサイト
<https://orienteering.sakura.ne.jp/jroc/2024mie/>
に当日7:00までにその旨を掲載する予定です。
- 大会中止の場合でも、参加料の返金はいりません。ご了承ください。

成績速報

- Lap Center (<https://mulka2.com/lapcenter/>下記のQRコード)にてライブ速報を行う予定です。最終走順の他、中間速報、都道府県対抗の団体戦の戦況もリアルタイムで提供する予定です。したがって、大会会場でのスマートフォン等の使用は妨げません。





祝 辞

スポーツ庁長官
室伏 広治

第33回全日本リレーオリエンテーリング大会が、三重県にて盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

本大会は、リトルジュニアからスーパーベテランまで幅広い年齢層の選手が集結し、自然の中で地図を片手に駆け巡り、技術と体力を競い合う生涯スポーツの振興を図る上で大変意義深いものです。

スポーツ庁におきましては、パリ 2024 オリンピック・パラリンピック競技大会によって高まった機運を生かし、スポーツを通じた「楽しさ」や「喜び」の拡大、健康増進や共生社会の実現など、一人一人の人生や社会が豊かになる「スポーツ・イン・ライフ」という姿を目指し、スポーツの振興に資するための施策に取り組んでいます。

選手の皆様方におかれましては、最後まで諦めることなく日頃の練習の成果を存分に発揮してください。そして、今後ともオリエンテーリングをはじめとするスポーツを通じて、健康増進や地域社会の形成に寄与されることを期待しております。

結びに、本大会の開催に御尽力された公益社団法人日本オリエンテーリング協会をはじめ、関係の皆様方に心から敬意を表しますとともに、本大会の御成功とますますの御発展を祈念して、お祝いの言葉いたします。



ごあいさつ

三重県知事
一見 勝之

第33回全日本リレーオリエンテーリング大会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

今年は2024年パリオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるなど、世界中がスポーツで盛り上がり、スポーツの持つ力に注目が集まっています。スポーツには、私たちの人生を楽しく豊かにする可能性があります。本県では、県民がスポーツの持つ力を享受できるよう、スポーツにふれ親しむ機会の創出やスポーツによる地域の活性化に取り組んでいるところです。

このような中、全国から多数の選手が参加され、本大会が開催されますことを大変嬉しく思います。選手の皆様におかれましては、日頃の成果を存分に発揮するとともに、大会を通じて多くの選手との交流を深め、思い出に残る大会としていただきたいと思います。

古来、本県は「美し国」と云われ風光明媚で食材が豊かな地域として知られており、伊勢神宮や世界遺産熊野古道伊勢路をはじめとする魅力あるスポットや、豊かな山海の幸などが多数あります。県外からお越しの皆様には、この機会に三重の魅力にふれていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただきました公益社団法人日本オリエンテーリング協会をはじめ、全ての関係者の皆様に改めて敬意を表するとともに、本大会の成功と選手の皆様のご健闘を祈念し、挨拶いたします。



祝 辞

津市長
前葉 泰幸

第33回全日本リレーオリエンテーリング大会が盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、各地から津市にお越しいただきました皆様を心より歓迎申し上げます。

リレーオリエンテーリングはタイムを競う競技スポーツの要素もありながら、地域の風土や美しい自然を楽しみながら体を動かすことができるレクリエーションスポーツでもあり、参加者それぞれが個々に楽しむことのできる生涯スポーツです。今回会場となります津市白山町上ノ村周辺には、青山高原にそびえる風力発電施設をはじめ、航空自衛隊笠取山分屯基地など、山々の形状を生かした風景が広がり、森林浴を楽しみながら巡っていただけるロケーションとなっています。

津市では、コロナ禍により令和4年度に開催中止となった三重とこわか国体・とこわか大会の開催費2.5億円を活用し、スポーツ振興基金を創設しました。市民の皆さんが心地よくスポーツに触れ、取り組んでいただくための施設の計画的な修繕や生涯スポーツ・パラスポーツ活動への支援など、集中的なスポーツ活動支援に取り組む中で、スポーツに親しむ機運の高まりに繋がっていることを実感しています。

本大会の開催を契機として、歩くことの楽しさを感じながら、津市の魅力を発見していただくとともに、全国から集まった多くの方々との交流を深められ、楽しいひと時を過ごされますことを願っております。

最後に、本大会の開催にあたりご尽力をいただきました関係者の皆様に深く敬意を表するとともに、参加される皆様のご健闘と本大会のご成功を心よりお祈り申し上げ、歓迎の挨拶いたします。



主催者あいさつ

公益社団法人
日本オリエンテーリング協会
副会長 愛場 庸雅

第33回（2024年度）全日本リレーオリエンテーリング大会を、三重県津市で開催する運びとなりました。主催者を代表してご挨拶申し上げます。

全日本リレー大会は、日本オリエンテーリング協会（JOA）を構成する会員である各都道府県の協会単位での対抗戦となります。普段はクラブや大学単位での活動が中心になることが多いかと思いますが、

県単位でまとまってチームを作ること、選手の皆さんが地元、郷土を意識する格好の機会になるとともに、ジュニアからベテランまで世代を超えての交流をすることができ、各県協会の活性化につながるものと思います。

今回の開催地となる青山高原の周辺は、良好なトレインが広がっており、中京圏、関西圏からもアクセスが良く、過去にも大きな大会が開催されております。今回の会場である「東青山四季のさと」は、2008年の第17回全日本リレー大会でも使われており、尾根と沢の入り混じる複雑な地形での正確なナビゲーションを要求されるコースであったように記憶しております。今回は若手のプランナーが運営にあたっており、さらに楽しいコースを提供していただけるものと確信しております。選手の皆様には、体調に留意しベストを尽くしていただくとともに、三重県の自然・風土・文化を大いに楽しんでいただきたいと思っております。

終わりに、本大会の開催に向けて準備を進めてこられました三重県オリエンテーリング協会を中心とする運営スタッフの皆様には厚くお礼申し上げます。また、本大会の開催にあたりご後援を賜りました、スポーツ庁、公益財団法人 健康・体力づくり事業財団、公益財団法人 日本スポーツ協会、三重県、三重県教育委員会、津市、津市教育委員会、一般社団法人 三重県レクリエーション協会、ご協力を頂きました東青山四季の里の関係者の皆様、ならびに多大なご協賛を頂きました関係各位に心からお礼申し上げます。



ごあいさつ

三重県オリエンテーリング協会
会長 小八重 善裕

第33回全日本リレーオリエンテーリング大会は、第17回大会と同じ、津市白山町の東青山四季のさと公園での開催です。

16年という年月は、トレインの経年変化を生じさせ、運営スタッフの高齢化にも拍車を駆けてきています。

私事ではありますが、2021年7月に脳梗塞を発症し、2024年9月に心筋梗塞をも発症する状況となり、本大会の準備段階から三重県協会会員の方々にご迷惑をお掛けしてしまいました。

幸いにも、JOAの担当者はじめ、近隣県から、EA、競技責任者、アシスタントEA等の選出は速かったので、関係者皆様のご協力により、無事準備を完了できました。

トレイン状況は、高速道路並み?!に走行出来る部分があったりします。そんな状況下、慎重な地図読みとルートチョイスが必要です。特に上級クラスにおいては、油断出来ないコースとなっています。

最後になりましたが、本大会を開催するにあたり、四季のさと公園を会場として使用させて頂きました、近畿日本鉄道(株)事業本部様、また、救護班看護師を派遣して頂きました藤田医科大学七栗記念病院様に、ご支援を賜りました事に厚く御礼申し上げます。

4 交通案内

○ 会場位置図



① 会場周辺図



② 榊原温泉口駅(駐車場)



○ 会場全体図



■ 観戦エリア(テント・タープ設置禁止)

公共機関：近鉄大阪線東青山駅下車

自家用車：伊勢自動車道久居インターから国道 165 号線を西へ 16km

名阪国道（25 号線）上野東インターから伊賀コリドールロードと 国道 165 号を東へ 30km

<乗用車・チャーターバス利用の方>

※ 「東青山四季のさと」 駐車場への駐車は先着順とします。満杯になったかどうかは会場まで来て確認するか、到着が遅くなった場合などは、

070-1348-8459（谷）

080-8257-5299（藤原）まで問い合わせてください。

※ 乗用車で来場の方は、出来るだけ乗り合わせをしていただくようお願いいたします。

また、乗用車で来県された方も、伊勢中川駅、伊賀神戸駅等の駅周辺にある駐車場に駐車して、近鉄で来場されることも選択の一つとして検討をお願いします。

駐車場は、「東青山四季のさと」の駐車場（約200台）に駐車してください。

駐車料金（普通車1000円）は、駐車場入口にいます公園職員に支払って下さい。

チャーターバスは、係員の指示に従って、近鉄所有地内の道路駐車してください。駐車料金（2000円）は、駐車場入口にいます公園職員に支払って下さい。

※ 「東青山四季のさと」 **駐車場が満杯**になった場合、約4.5km東の榊原温泉口駅にあります**茂岡駐車場**をご利用ください。（約80台）

茂岡駐車場は、駐車料金500円/日です。駐車する場合は、地図②に図示した駐車場手前の管理者（**町井さん**）宅で料金を払って下さい。（管理者の電話番号059-262-0200）
駐車場から駅まで約100mです。榊原温泉口駅から東青山駅までの所要時間は約4分、運賃は240円です。

<近鉄利用の方>

東青山駅で下車してください。駅から会場までは、約200mです。

○ 時刻表

名古屋方面から

（伊勢中川）	（榊原温泉口）	（東青山）
8：08	8：18	8：22
8：24	8：37	8：40
8：56	9：09	9：12
9：06	9：16	9：19
9：33	9：42	9：46

9:44 9:57 10:00

大阪方面から

(伊賀神戸)

7:46

7:59

8:37

9:20

10:00

(東青山)

8:02

8:15

9:11

9:36

10:39

5 競技会場レイアウト図

会場詳細図



6 走順票の提出

<選手権クラス>

- ・提出期限11月30日(土) 24:00 必着厳守

- 選手権クラスの提出用「走順票」は、大会ウェブサイトに掲載しています。
- 走順票に、各クラスの登録名簿の正選手及び補欠選手の中から走順欄に競技者登録番号、選手名を記入の上、郵送またはE-mailで下記宛提出してください。(E-mailによる場合は、大会ウェブサイトに掲載のエクセルシートを必ずご使用ください。)

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 4階
(公社)日本オリエンテーリング協会「全日本リレー」係

E-mail : entry@orienteering.or.jp

- 11月30日までに走順票の提出がなかったチームは、大会ウェブサイトの名簿順を走順とします。
- 選手権クラス最終走順一覧表は、大会ウェブサイト及びラップセンターで公開します。
- 走順票提出後、急病等の緊急事態により選手が出場できない場合、同一クラスの他のチームおよび補欠登録選手に限り選手交代の申告ができます。チームオフィシャルは、大会当日8:10までに緊急時の連絡先03-5843-1907(JOA事務局)へ連絡してください。

また9:30までに選手交代の理由並びに内容等を明記した書類に署名し、大会本部へ申告してください。

- 交代の可否は、競技責任者が決定します。本処置により出走を取りやめた選手は、本大会全ての競技に出場できません。

<一般クラス>

- 提出期限 大会当日12月8日(日)9:30まで
- 一般クラスの提出用走順票は、大会ウェブサイトに掲載しています。また、会場内受付にも用意します。申込時(大会ウェブサイト掲載内容)から選手・走順に変更のあるチームは、走順票を受付に提出してください。チーム名変更はできません。
- 成績速報の選手名は、変更前の氏名にて表示される場合があります。

7 トレーニングコース

- 用意しません。
- 前日イベントとして、12月7日(土)に三重県志摩市で伊勢志摩OLC主催のスプリントOを開催します。詳細はJapan-O-entryにて案内しています。

大会ウェブサイト : <https://japan-o-entry.com/event/view/1783>

8 テクニカルミーティング

- テクニカルミーティングは12月7日(土)の16:00~17:00にオンライン(Zoom)で開催します。

<https://us06web.zoom.us/j/84398847504?pwd=HujAlE3p5gC9QFYHU2AXpVLhM0keVi.1>

ミーティング ID: 843 9884 7504

パスコード: 279864

- プログラムに掲載以外の追加情報は、大会ウェブサイトにて公表します。
- 競技に関する情報への質問は12月6日(金)20:00まで受け付けます。問い合わせ先にメールで送信してください。回答は12月7日(土)のうちに大会ウェブサイトにて公表します。

9 開会式

日 時：12月8日（日）9：40～9：50

会 場：東青山四季のさと

式次第：・開会宣言

・来賓挨拶

・選手宣誓

10 競技情報

競技形式：リレーオリエンテーリング（1チーム3名）

競技規則：「日本オリエンテーリング競技規則」による

地 図：「東青山四季のさと2024」縮尺1：10,000 等高線間隔 5m

ただしMV、WV、XV、XJは縮尺1：7,500 等高線間隔 5m

図 式：ISOM2017-2 準拠 A4判、ポリ袋封入済

逸脱事項：

1.女子クラスの優勝設定時間が120分になっています。

2.スタートフラッグ通過後の選手が視認できます。

理由：テレイン、会場レイアウト上の制約があることと、地図の視認性、開催時期を考慮したため。

3 以下の特殊記号が使用されています。地図表面に印刷されています。

○ 炭焼き窯跡

× 看板・ベンチ等人工構造物

★ 水飲み場

4 競技規則による「少なくとも25分毎に給水所を設ける」規定については満たされていません。

競技用地図の配布

- ・12月8日（日）9：00～9：40 大会当日の受付にて、競技用地図とSIカード（SPORTident社電子式カード）、ナンバーカードをすべてのクラスにおいてチーム単位で封筒に入れて配布します。選手権クラスは協会ごとにまとめて配布します。欠席のチームがある場合にはスタート開始前に受付まで袋ごと返却下さい。
- ・欠席チームの地図は、繰り上げスタート後に再度受付に来ていただければお渡し致します。

競技用の地図の包装状態

- ・地図は、防水用のポリ袋に封入（チャック付きの防水用のポリ袋に封入）した状態で2つ折りにされ、開かないよう粘着力の弱い紙テープで止めてあります。出走前に紙テープを外して地図を見ることはできません。紙テープが外されていることが判明した場合は失格となります。

- 地図の裏面には、ナンバーカードと同じ数字が印刷されています。ポリ袋に封入された状態で確認することができます。誤って他の走者の地図を持って出走することのないようにしてください。1の位の数字が走順を表します。

トレインプロフィール

- 会場は、青山高原の東山麓の標高約 200mに位置し、開催時期の平均気温は 10℃程度です。区域の南西側は数ヘクタールの芝生地、区域の中心部にV字型農業用池があり、それを囲むように東・北・西部はスギ・ヒノキの人工林、また雑木林が広がっています。

【選手権クラス】

クラス	距離	登高	優勝設定時間	競技時間	地図サイズ
ME	5.1~5.2km	320~340m	135分	270分	A4判
WE	4.3km	270~280m	120分	270分	A4判
MS	4.6~4.7km	215~225m	135分	270分	A4判
WS	3.7~3.8km	150~165m	120分	270分	A4判
MJ	4.6~4.7km	215~225m	135分	270分	A4判
WJ	3.7~3.8km	150~165m	120分	270分	A4判
MV	4.1~4.2km	235~240m	135分	270分	A4判
WV	3.3~3.4km	135~140m	120分	270分	A4判
XV	3.3~3.4km	135~140m	120分	270分	A4判
XJ	3.3~3.4km	135~140m	80分	270分	A4判

【一般クラス】

クラス	距離	登高	優勝設定時間	競技時間	地図サイズ
R1 MS相当	4.6~4.7km	215~225m	135分	270分	A4判
R2 XV相当	3.3~3.4km	135~140m	120分	270分	A4判
S1 MS相当	4.7km	215m	45分	90分	A4判
S2 XV相当	3.4km	135m	45分	90分	A4判

- 上記距離の表記は中継（チェンジオーバー）ゾーンからスタートフラッグ（△）までの距離を含んでいます。

※すべての競技用地図面上のコース図と位置説明表において、チェンジオーバーゾーンからスタートフラッグまでの誘導に係る表記が漏れています。その結果、コース図上ではチェンジオーバーゾーンからスタートフラッグまでの誘導が描かれていません。また、位置説明表では当該の誘導の距離表記がある行が抜け落ちています。さらに位置説明表上のコース距離が0.2km短く表記されています。訂正してお詫び申し上げます。なお、プログラム記載の上記表のコース距離は修正後の正しい数値となっております。

- 変更の場合は、前日のテクニカルミーティングで発表し、当日は公式掲示板に掲出します。
- 全クラスとも、レイアウト図に示すように途中にスペクターズ区間があります。さらに Lap Center のライブ中継（→中間速報）を利用して前走者の接近情報を得てください。

服装・シューズ・携行品

- ・長袖・長ズボンを推奨します。ピン付きシューズの使用は可能です。
- ・冬季になり体温低下等の危険を考慮し、自らの安全を守ることが可能な服装としてください。
- ・GPS 機能を有するデバイスは、通信やナビに使用しない限り携行してもよいこととします。
- ・危険に遭遇した時のために、笛の携行を推奨します。

電子パンチングシステムについて

- ・本大会では SPORTident 社製パンチングシステムを使用します。全クラスともに、主管者が配布する SI カードを使用します。個人所有の SI カードの使用はできません。SIAC（タッチフリー）です。
- ・各チームに第 1～第 3 走者用 SI カード 3 枚を地図とともに封筒に入れて配付します。各選手は自分のナンバーカードに記載された番号の SI カードを必ず使用してください。SI カードの使い回しは認めません。指定以外の SI カード（他の選手の SI カードや個人所有の SI カード）を使用した場合は失格となります。
- ・SI カードを紛失・破損した場合は弁償金を徴収します。紛失防止策は各自でお願いします。
- ・SI カードの操作に不慣れな競技者は、経験者から前もって指導を受けてください。
- ・全ての選手はスタート枠、待機枠に入る前に必ず SI カードをクリアステーションに差し込みクリア（初期化）をしてください。次に、チェックステーションに差し込み SI カードのチェックをしてください。（ランプの点灯及び音を確認する。）その後、SIAC テストステーションに SI カードをかざして動作することを確認してください。この処理を行わないとコントロールの通過証明が記録として残りません。SI カードの動作が確認出来ない場合は係員に申し出てください。
- ・競技中：各コントロールのコードナンバーはステーションに表示されたものになります。SI カードをユニットにかざして音と光を確認してください。動作しない場合は、SI カードをユニットの穴に差し込んでください。それでも動作しない場合はコントロールにつけられているピンパンチで、地図のリザーブ欄にパンチしてください。
- ・ピンパンチによるパンチは、SI ステーションの故障でない場合に使用しても通過証明にはなりません。
- ・SI カードに記録がなく、かつピンパンチによるパンチも無い場合は、失格（コントロール不通過）となります。（参考：「競技規則等の運用に関するガイドライン」17 項参照）

[コントロールで間違っただ記印をした場合の対処方法]

- ・同じ番号のコントロールで続けて 2 回以上パンチした場合、最初のパンチのみが記録されます。2 回以上パンチしても問題はありません。
- ・途中で間違っただコントロールでパンチした場合も、そのまま正しいコントロールに行ってパンチしてください。間違っただコントロールのパンチが記録されても、正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認めます。例 1) 7→8→9 と行くべきところ、7→9 とパンチした場合⇒そのまま 8 に戻ってパンチをし、その後再び 9 をパンチします。(7→9→8→9) 例 2) 7→8 と行くべきところ他のクラスのコントロール X でパンチした場合⇒そのまま 8 に行ってパンチします。(7→X→8)
- ・フィニッシュはパンチングフィニッシュです。フィニッシュユニットに SI を差し込んでください。

ナンバーカード

- ・選手は、配布されるナンバーカードを必ず胸側に見えるように水平に取り付けてください。サイズは A5 サイズ 192×160mm、厚さ 0.18 mm です。1 の位の数字が走順を表します。取り付け

は、安全ピンを4本以上使用するか、それと同様の手段で取り付けてください、安全ピンは、各チームで準備してください。ナンバーカードを折って取り付けること並びにナンバー欄への追記は認めません。

コントロール位置説明

- ・コントロール位置説明は「ISCD2018」に準拠します。各コースの位置説明は事前公開しません。

調査依頼・提訴

- ・調査依頼、提訴ともに、チームオフィシャル名で書面にて提出してください。競技運営に関する調査依頼は、本部備え付けの指定用紙により速やかに競技責任者に対して行ってください。調査依頼の締め切りは、大会当日15:10です。ただし、成績速報に対する調査依頼は、速報発表後30分以内です。調査依頼への回答は、競技責任者が書面にて行い公式掲示板に掲出します。調査依頼の結果に対して納得できず提訴する場合は、本部備え付けの指定用紙により本部を通じ裁定委員に提出してください。提訴は調査依頼に対する回答の掲出後15分以内です。

裁定委員

- ・当日、会場の公式掲示板にて公示します。

ドーピング検査について

1. 本競技会は日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
2. 本競技会参加者は、日本アンチ・ドーピング規程に従わなければなりません。
3. ドーピング検査の対象となった本競技会参加者は競技役員の指示に従って検査を受けなければなりません。なお、身分証明のため、本競技会参加者は学生証・運転免許証等、写真により本人確認ができるものを持参して下さい。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、JADAのウェブサイト (<https://www.playtruejapan.org>) にて確認して下さい。

公式掲示板

- ・競技に関する本プログラム掲載事項からの変更事項、重要事項等を競技会場に掲示します。オフィシャル、選手は、必ず確認してください。

表彰

- ・13:50（予定）より表彰式を行います。
（前日大会の伊勢志摩 OLC 大会の表彰は本表彰式の前行います。）

(12月22日からタイで開催されるAsOC(アジア選手権)、AsJYOC(アジアジュニアユース選手権)の日本代表選手紹介を表彰式直前に行います。)

(1) 選手権クラス表彰

ME, WE クラス優勝チームを日本選手権者とし、上位6位までを表彰します。他の選手権クラスは上位3位までを表彰します。

(2) 団体総合表彰

都道府県ごとにMEおよびWEクラスの得点と、その他の選手権クラスの中で成績の良い4クラスの得点とを合計し、一番高い得点の都道府県を総合優勝として優勝旗と優勝杯を授与し、6位までを表彰します。総合優勝の都道府県には、スポーツ庁長官賞が授与されます。

・得点の計算方法

- ① 各クラスにおいては参加チーム数(最終走順提出時点での得点対象チーム数)に応じて得点を与える。
- ② 同一の都道府県会員から複数チームが出場するクラスでは、最上位チームのみに得点を与え得点対象外のチームの順位は詰めて計算する。
- ③ 複数の都道府県会員による連合チームには獲得得点を、チームを構成する都道府県会員数で割った点数をそれぞれに与える。
- ④ 上記以外の得点対象チームで、競技時間内に完走したチームには、1点を与える。

(3) 一般クラス表彰

3位まで表彰状のみの贈呈となります。

11 当日の流れ

(1) 競技会場「東青山四季のさと」(駐車場開場は8:30)

- ・女子更衣室: 更衣用テントを設置します。
- ・テント、タープの設営は可能です。ペグうち可能です。
設営の場合は、レイアウト図で示されたエリアを利用して下さい。
- ・テント・タープの撤去後は、清掃及び地面の原状回復をお願いします。
- ・参加者荷物置き用のテントを準備します。ただし、敷物は各自で用意してください。
地面の水はけがよくない場所がありますので注意してください。
- ・トイレは、仮設トイレを用意します。場所は、駐車場の東側(会場全体図参照)です。
オリエンテーリング参加者は仮設トイレを使用してください。原則として会場休憩所のトイレは使用できません。

(2) 受付 9:00~

- ・競技に必要な物品(SIカード、競技用地図(封入済み)、ナンバーカード)を受付で受け取って下さい。その際、参加しないチームがあれば、その地図とSIカードは受付に返却してください。
- ・コンパスの貸し出しは行いません。

(3) ウォーミングアップエリア

- ・競技会場レイアウト図を参考にして行ってください。

(4) 競技説明デモンストレーション

開会式後、9:50から

(5) 第1走者のスタート招集

- ME クラスは 10：15 に招集します。以後のクラスは各々5分前に招集します。遅刻者は出走できません。
- 各クラスの第1走者のスタートエリアは、レイアウト図の待機枠の場所になります。
- 第1走者はスタートエリアに各自が競技で使用する地図を持参してください。
- スタートエリアに入る前に、SIカードのクリア、チェック、テストステーションでの動作確認をしてください。動作しない場合は係員にお知らせください。
- スタートエリアに入ったら、係員の指示に従って整列し、係員の点呼を受け、そのまま待機してください。

(6) スタート

- 10：15 ME クラス 1走招集
- 10：20 ME クラス 1走スタート
- 10：25 WE、MJ、WJ、WS 1走スタート
- 10：30 MS、MV、WV、XJ、XV 1走スタート
- 10：35 一般クラス スタート

- スタートの後に、地図の紙テープ止めを外して地図を見ることができます。
- 地図上のスタート地点（△表示）までは「赤・白」テープに従ってください。

(7) 給水所、救護所

- テレイン内に主催者による給水所はありません。但し、スペクテーターズレーンにおいて自ら用意した、もしくはチームからの給水を受けることは構いません。
- テレイン内に救護所はありません。会場に救護所を設置しています。

(8) 中間通過情報と次走者準備、中継

- 全コースにおいて、会場から容易に視認できる範囲でスペクテーターズレーンがあります。前走者がスペクテーターズレーンを通ったら次走者は出走の準備をして待機枠にお入り下さい。
- スペクテーターズレーン通過後フィニッシュまでの所要時間はクラスによって違います。最も速い選手で、おおよその所要時間は5分程度です。
- 通過情報の放送を行うことがありますが、すべての選手に対して行うものではありません。また中継のために責任をもつ広報手段でもありません。
- 次走者への通過情報の伝達は、Lap Center の中間速報なども利用して各チームで行ってください。
- 次走者は、次走者待機枠に各自が競技で使用する地図を持参してください。待機枠に入る前に、地図の封印を破くことはできません。
- 次走者待機枠に入る前に、SIカードのクリア、チェック、テストステーションでの動作確認をしてください。動作しない場合は係員にお知らせください。
- 誤って次走者待機枠に入った選手は、地図の封印を破いていなければ、次走者待機枠の外に出ることができます。封印を破いてしまった場合には枠外に出ることを禁止します。
- 中継は、チェンジオーバー地点で前走者が次走者に接触（タッチ）する事により成立します。不完全な場合は中継判定員が警告を発し、やり直しを求めます。
- 次走者が次走者待機枠にいない場合、前走者は係員の指示に従い、後続の走者の邪魔にならない位置で次走者が来るまで待機してください。

- ・中継を終えた前走者はそのままフィニッシュステーションに差してパンチしてください。その時刻がフィニッシュ時刻として処理されます。
- ・中継は、繰り上げスタート時刻をもって終了となります。
- ・競技を途中でやめた場合は、帰還後本部へ SI カードを必ず返却してください。
- ・SI カードを紛失した場合は本部に必ず申告してください。

(9) フィニッシュ

- ・最終コントロールからフィニッシュまでは「赤・白」テープ誘導となります。
- ・次走者との中継を終えた第1、第2走者、およびフィニッシュラインを通過した第3走者は、そのままレーンを進み、SI カードをフィニッシュステーションに差してください（パンチングフィニッシュ）。誘導に従ってカード読み取り所にて、SI カードを差し込んでください。全ての SI カードをここで回収します。
- ・フィニッシュ後、地図を回収します。役員の指示に従って回収箱へ入れてください。
- ・第3走者の着順はパンチングフィニッシュの着順ではなく、フィニッシュラインの通過順です。フィニッシュラインの通過後はフィニッシュステーションにパンチするまで順番を変えないで下さい。
- ・競技を途中でやめた場合は、帰還後本部へ SI カードを必ず返却してください。
- ・SI カードを紛失した場合は本部に必ず申告してください。

(10) 繰り上げスタート 13：15（予定）

- ・13：15（予定）までに中継ができなかった未出走者は、繰り上げスタートになります。なお、繰り上げスタート時刻は、レースの進行状況により変更となる場合があります。
- ・当該選手は13：10（予定）に次走者待機枠に集合してください。
- ・繰り上げスタート直前まで、前走者との中継を認めます。中継完成の成否判断は中継判定員が行います。
- ・13：15（予定）の号砲により一斉スタートしてください。
- ・繰り上げスタート以降中継所を閉鎖します。

(11) 成績速報

- ・Lap Center にて提供する予定です。都道府県テントにおいて、都道府県対抗の団体戦の戦況もリアルタイムで速報致します。

(12) 競技終了

- ・15：05にフィニッシュを閉鎖します。
- ・全ての競技者は競技途中でも、この時刻までに必ずフィニッシュに帰還してください。

(13) 表彰式

- ・13：50（予定）より表彰式を行います。

前日大会の伊勢志摩 OLC 大会の表彰は本表彰式の前に行います。

（12月22日からタイで開催される AsOC（アジア選手権）、AsJYOC（アジアジュニアユース選手権）の日本代表選手紹介を表彰式直前に行います。）

(14) 閉会式

- ・閉会式は、表彰式に引き続き行います。

(15) その他

- ・競技を棄権したチームは、本部へその旨を伝え SI カードを取りまとめ返却してください。
- ・地図返却は、繰り上げスタート後に本部前付近で行います。

- 地図販売は、繰上げスタート後に行います。全コントロール図 1000 円、コース図 500 円です。数に限りがあります。
- 成績表送付希望者は、本部にて所定の申込手続きをしてください。1 部 500 円です。なお成績は、大会ウェブサイトに掲載します。

12 留意事項

(1) 写真撮影について

- 本競技会への参加者、観戦者は競技の様子として、また競技や会場の風景として、主催者や報道機関に撮影されることがあります。これらの写真を報告書や広報に使用することがあります。この点ご了承下さい。

(2) 救護・救急

- けが人等の救急を要する選手をみつけた場合には救助に協力し、速やかに大会スタッフに知らせて下さい。けが人の救助は競技続行よりも優先します。
- 競技会場に看護師は待機していますが、救護などの為に救護所に不在の場合があります。救護所では簡単な応急手当のみが可能です。万が一に備え「健康保険証」「お薬手帳」等を持参して下さい。
- 救急車の要請は、大会本部を通じて行いますので、本部または競技用地図に記載している緊急連絡先に連絡願います。

(3) 損害・保険 (JOA)

- 大会において自分自身が受けた被害、第三者に与えた損害に対して、主催者は一切責任を負いません。行事賠償責任保険及び傷害保険は主催者で加入しますが、限度があります。
- 大会への参加は、自分自身の健康状態を十分考え、絶対に無理はしないこと。また、参加者が自分自身あるいは第三者へ与えた損傷、損害、損失については、主催者・管理者はその責任を負いません。今大会のエントリーによって参加同意書に同意したものとみなします。

(4) その他特記事項

- 参加者は、一般入園者もおられますので、安全確保を第一に競技することをお願いいたします。
- 持ち込まれたゴミ等はお持ち帰りください。また、競技終了後の撤去時にゴミや忘れ物等がないか確認願います。
- 会場・テレイン内はすべて禁煙・火気厳禁です。
- 飲食物は、持ち込みでお願いします。会場内には自動販売機もありません。(公園管理事務所には若干の飲物等の販売もしていますが、数量的にも今大会に対応はしていません。)



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構